



1月号

sayachan

さやまだい

公民館・地区センターだより

＝公民館共催事業＝

令和2年
2020年1月



ma-kun

..... “子どもはなぜ遊ぶ？” ほんきっこ講演会開催報告

11月18日(月)狭山台公民館ホールで、NPO法人本気であそぶ子応援団との共催事業として講演会が開催されました。参加者36名。テーマは“子どもたちの心と身体の育て方Ⅲ”～自己肯定感を育む遊びのチカラ～。講師は冒険遊び場づくり協会代表の“どっくん”こと関戸博樹氏▼冒頭、参加者に“子どもはなぜ遊ぶ？”の問かけをし、グループ討議をしました。哲学めいた問いかけに「考えたことも無かった」から始まり、色々話し合いました▼講師は、“遊びとは、環境(自然・物・他者)と自分の関係性を知るために備わっている人間の本能であり、未知を知るこ



講師の関戸博樹氏

とへの欲求全てが遊びとなる”と脳の発達過程と“遊ぶ”を科学的・論理的に解析。楽しいが遊びの原点。自分で決めて自分でやるのが大切。たくさん遊ぶことにより未熟で生まれた脳を発達させ、人と人との関係性を学んでいく。おもちゃを奪い合って泣いて来ても、“遊びたかったのに残念だったね！”と子どもの感情を否定しないで肯定的に受け止めてあげる。喧嘩しても良い関係づくりが遊びの中で醸成されていく。そこでは、子育ては他人にしてもらおう関係も築かれていく等々、子育ての上で示唆に富んだ話を聞くことができました。(阿部記者)



グループで話し合い中

参加者の声(アンケートより)

*非認知能力をたかめるために外遊びを積極的にしていきたいと思いました。子供のやりたいことをやらせてあげ、見守っていきたいです。

*放課後、毎日友達と公園遊びをしている小2の娘がいます。「毎日遊んで！」って思っていたんですが、大切なことなんだと考えが変りました。子育てに対して大切なお話しが聞けて本当によかったです。ほんきっこも大好きです。

..... 第27回狭山台ふれあい音楽祭♪開催報告



市長ご挨拶

12月1日(日)13時～15時半まで、第27回狭山台ふれあい音楽祭が狭山元気プラザ体育館で開催されました。小谷野市長はじめ、狭山台の各自治会会長や、参加者の保護者、知人友人など多くの観客の中で、7団体が日頃の練習成果を披露▼各グループの発表持ち時間は12分程度で、発表プログラムは①狭山台南保育所2曲 ②狭山台児童館合唱団4曲 ③狭山台オカリナサークル4曲 ④狭山台小学校2曲 ⑤狭山台少年少女合唱団3曲 ⑥狭山台中学校吹奏楽部2曲 ⑦狭山市吹奏楽団2曲でした▼小谷野市長は、「本日、午前9時から水野の森クリーン作戦に参加し美しい森を見て来ました。また、朝から狭山台地区



狭山台ふれあい音楽祭の大勢の観客



狭山台南保育所の元気な歌唱

の自治会の方々が、道路の草などを取って街を綺麗にする光景を見ることができました。そして、たった今綺麗なオカリナの音色を聞かせてもらい大変良い日だなと思っています。情熱をもって音楽に取り組む先生がいて、1人でも多くの人に音楽の素晴らしさを伝える音楽祭があって、この街は本当に素晴らしい。第27回となりましたが、これからも末永く続きますように」と、ご挨拶をしてくださいました▼狭山台南保育所の合唱は、大きな歌声が体育館内に響き渡る、驚きを感じるものでした▼狭山台児童館合唱団は歌に合わせて手足を使った動きを取り入れながら、美しいハーモニーの合唱を披露して感動を与えてくれました。美しい音色を奏でた演奏の4団体は、①狭山台オカリナサークル②狭山台小学校のリコーダー③狭山台中学校吹奏楽部④狭山市吹奏楽団。最後の吹奏楽の演奏は耳ばかりで無く、胸や腹に振動も与える程の大迫力を感じました。(村上記者)



狭山台児童館合唱団がお揃いの黄色の上着で合唱



狭山市吹奏楽団の演奏